

5 ソルガム

(1) 国際的なソルガム需給の概要

○2008/09年度のソルガム需給（予測）のポイント

ソルガムの供給面では、インドや米国等で減少することから世界の生産量は減少が見込まれている。

需要面では、EU等で昨年度に急増した飼料用需要が小麦の生産回復により減少するものの、米国等で増加することから、世界の消費量は前年度並みが見込まれている。

期末在庫量については、生産量が消費量を上回ることから増加し、期末在庫率も上昇すると見込まれている。

【生産量】

生産量は、ナイジェリア等で増加するものの、インドや主要な生産・輸出国である米国等で減少することから世界全体では前年度より0.1百万トン減少（▲0.2%）し、63.7百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.5百万トン下方修正されており、国別にはアルゼンチンが下方修正され、インドが上方修正された。

【消費量】

消費量は、EU等で昨年度に飼料用小麦の代替として急増した需要が小麦等の生産回復により減少するものの、米国等で増加することから、世界全体では前年度並みの63.3百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.3百万トン下方修正されており、国別にはメキシコ、EUが下方修正され、インドが上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より4.5百万トン減少（▲47.3%）し、5.0百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国では貿易量の約7割を占める米国で輸出量の減少が見込まれている。一方、輸入国では、EUで飼料用需要の減少から輸入量の減少が、メキシコ等で増加が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.2百万トン下方修正されており、国別にはアルゼンチンの輸出量、EUの輸入量がともに下方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから世界全体では前年度より0.3百万トン増加（8.4%）し、4.8百万トンとなり、期末在庫率は7.6%（0.6ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.2百万トン下方修正されており、国別にはアルゼンチンが下方修正され、メキシコが上方修正された。

表－1 世界のソルガム需給

(単位:百万トン)

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	56.1	63.8	63.7	▲ 0.5	▲ 0.2
米国	7.0	12.6	12.0	-	▲ 5.0
ナイジェリア	10.5	10.0	11.0	-	10.0
インド	7.2	7.9	7.2	0.7	▲ 8.7
メキシコ	5.8	6.2	6.2	-	0.0
スーダン	5.2	4.5	4.7	-	4.4
アルゼンチン	2.8	2.9	3.0	▲ 1.3	2.0
エチオピア	3.3	3.2	3.3	-	2.2
消費量	56.7	63.3	63.3	▲ 0.3	0.0
うち飼料用	22.0	28.9	26.4	▲ 1.0	▲ 8.9
ナイジェリア	10.5	10.0	11.0	-	10.1
メキシコ	8.1	7.2	8.3	▲ 0.1	15.3
インド	7.1	7.9	7.3	0.7	▲ 8.1
米国	4.0	5.1	8.4	-	65.7
スーダン	5.0	5.2	5.0	-	▲ 4.3
エチオピア	3.1	3.2	3.3	-	2.9
EU-27	1.3	6.1	1.1	▲ 0.1	▲ 82.0
貿易量	5.5	9.5	5.0	▲ 0.2	▲ 47.3
(輸出)					
米国	3.9	7.1	3.3	-	▲ 53.2
アルゼンチン	1.1	1.1	0.6	▲ 0.2	▲ 45.5
オーストラリア	0.1	0.8	0.6	-	▲ 20.0
ブラジル	0.1	0.1	0.2	-	75.4
中国	0.1	0.2	0.2	-	▲ 32.7
ナイジェリア	0.1	0.1	0.1	-	0.0
インド	0.0	0.0	0.0	-	▲ 16.7
(輸入)					
EU-27	0.7	5.8	0.4	▲ 0.1	▲ 93.1
メキシコ	2.0	1.2	2.3	-	99.0
日本	1.3	1.1	1.4	-	24.5
スーダン	0.3	0.3	0.3	-	▲ 1.3
チリ	0.2	0.3	0.2	-	▲ 50.0
イスラエル	0.1	0.2	0.1	-	▲ 33.3
ニジェール	0.1	0.1	0.1	-	0.0
期末在庫量	3.9	4.5	4.8	▲ 0.2	8.4
米国	0.8	1.3	1.7	-	23.6
スーダン	1.0	0.5	0.5	-	▲ 0.9
エチオピア	0.4	0.4	0.4	-	▲ 5.9
アルゼンチン	0.2	0.2	0.5	▲ 0.3	136.4
メキシコ	0.2	0.4	0.6	0.1	53.6
ナイジェリア	0.2	0.2	0.2	-	0.0
インド	0.2	0.2	0.2	-	▲ 23.7
期末在庫率	7.0%	7.0%	7.6%	▲ 0.2	0.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」

(2) ソルガムの主要生産・輸出国等の需給状況

ア 米国

【需給状況】

米国の生産量は、収穫面積は増加するものの、単収の減少から前年度より0.6百万トン減少（▲5.0%）し、12.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用とうもろこしの価格高騰に伴い、ソルガムの飼料用需要の増加が見込まれることやエタノール原料用需要の増加から前年度より3.3百万トン増加（65.7%）し、8.4百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少とEUの輸入量の減少から前年度より3.8百万トン減少（▲53.2%）し、3.3百万トンとなる見込みである。

この結果、生産が消費と輸出を上回ることから期末在庫量は前年度より0.4百万トン増加（23.6%）し、1.7百万トンとなり、期末在庫率は14.2%（3.1ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測から改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

米国のソルガムの収穫は終了した。

作柄については、優良が9%と前年度の最終の15%に比べ低く、優良～普通までの合計でも86%と前年度の最終の91%を下回っている。

（我が国の輸入先国シェア1位（2007年数量ベース 57.1%）
世界の生産量シェア 1位（2008/09年度 18.8%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度 66.0%）

表-2 米国のソルガム需給（市場年度：9月～翌年8月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	7.0	12.6	12.0	-	▲ 5.0
消費量	4.0	5.1	8.4	-	65.7
うち飼料用	2.9	4.2	5.6	-	34.1
輸出量	3.9	7.1	3.3	-	▲ 53.2
輸入量	0.0	0.0	0.0	-	200.0
期末在庫量	0.8	1.3	1.7	-	23.6
期末在庫率	10.3%	11.1%	14.2%	-	3.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.00	2.75	2.94	-	6.9
単収(t/ha)	3.52	4.60	4.08	-	▲ 11.3

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」

○ 米国ソルガムの作柄

[作柄]

		単位:%				
		優良	良	普通	不良	極不良
ソルガム	2008/09	9	44	33	11	3
	前年度同時期
	前年度最終	15	49	27	7	2

注: 優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

資料：USDA「Crop Progress」ただし、作柄については2008年11月2日現在のデータである。

注：生育進捗状況の（ ）内は前年同時期及び同時期の平年値（過去5年）との比較である。

イ アルゼンチン

【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、単収の増加から前年度より0.1百万トン増加（2.0%）し、3.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の増加から前年度より0.3百万トン増加（16.7%）し、2.1百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.5百万トン減少（▲45.5%）し、0.6百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、生産量が消費量と輸出量を上回ることから前年度より0.3百万トン増加（136.4%）し、0.5百万トンとなり、期末在庫率も19.3%（11.7ポイント増）と大幅に回復する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、長引く干ばつによって収穫面積及び単収が下方修正されたことから生産量が1.3百万トン下方修正された。飼料用消費量が0.8百万トン下方修正され、輸出量も0.2百万トン下方修正された。この結果、期末在庫量が0.3百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

アルゼンチンの2008/09年度のソルガムの作付けは、終了している。主要産地のサンタフェ州、コルドバ州、エントレリオス州などでは1月から2月上旬にかけて干ばつの影響を強く受け、作付けが阻害された。これらの地域では2月中旬から下旬にかけて平年以上の降雨があったものの、時期が遅く、発芽後の生育不良のために単収の低下が予想されている。なお、1月26日に主要産地において非常事態が宣言されている。

ウ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、収穫面積は減少するものの、良好な天候を反映して単収が増加することから前年度より0.1百万トン増加（5.3%）し、2.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン増加（5.9%）し、1.8百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より7.3万トン減少（▲32.7%）し、0.2百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より5.5万トン増加（67.1%）し、14万トンとなり、期末在庫率も7.0%（2.8ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測から改訂は行われていない。

【貿易情報】

中国については、増値税の輸出還付を取り消し、輸出税を課していたが、12月1日からは、輸出税は撤廃されている。

〔我が国の輸入先国シェア 2位（2007年数量ベース 31.2%）〕
世界の輸出量シェア 2位（2008/09年度 12.0%）

表－3 アルゼンチンのソルガム需給
（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	2.8	2.9	3.0 (4.3)	▲ 1.3	2.0
消費量	1.7	1.8	2.1 (3.4)	▲ 0.8	16.7
うち飼料用	1.5	1.6	1.9 (3.1)	▲ 0.8	18.8
輸出量	1.1	1.1	0.6 (0.8)	▲ 0.2	▲ 45.5
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	...
期末在庫量	0.2	0.2	0.5 (0.3)	▲ 0.3	136.4
期末在庫率	6.5%	7.6%	19.3% (7.2%)	▲ 1.8	11.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.62	0.71	0.70 (...)	▲ 0.13	▲ 1.4
単収(t/ha)	4.52	4.14	4.29 (...)	▲ 0.92	3.6

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
IGC 「Grain Market Report (26 February 2008)」

〔我が国の輸入先国シェア 3位（2007年数量ベース 11.6%）〕
世界の輸出量シェア 5位（2008/09年度 2.9%）

表－4 中国のソルガム需給
（市場年度：10月～翌年9月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	2.0	1.9	2.0 (2.0)	-	5.3
消費量	2.0	1.7	1.8 (...)	-	5.9
うち飼料用	0.2	0.1	0.1 (...)	-	0.0
輸出量	0.1	0.2	0.2 (0.1)	-	▲ 32.7
輸入量	0.0	0.0	0.0 (...)	-	...
期末在庫量	0.1	0.1	0.1 (...)	-	67.1
期末在庫率	4.5%	4.3%	7.0% (...)	-	2.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.57	0.55	0.50 (...)	-	▲ 9.1
単収(t/ha)	3.53	3.45	4.00 (...)	-	15.9

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
IGC 「Grain Market Report (26 February 2008)」

エ オーストラリア

【需給状況】

オーストラリアの生産量は、飼料穀物価格の低下などにより前年度増加した面積の減少が見込まれているために前年度より0.7百万トン減少（▲21.9%）し、2.4百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の減少から前年度より0.3百万トン減少（▲11.6%）し、1.9百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少から前年度より0.2百万トン減少（▲20.0%）し、0.6百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.1百万トン減少（▲57.4%）し、0.1百万トンとなり、期末在庫率も3.1%（3.2ポイント減）となる見込みである。

なお、前月の予測から改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

オーストラリアのソルガムの収穫は、2月頃から始まり、6月頃に終了する予定である。1月には比較的高温で乾燥天候だったものの、10～12月と2月に主要産地のクイーンズランド州南部とニューサウスウェールズ州北部で平年以上の降雨に恵まれたために作柄は良好である。

オ インド

【需給状況】

インドの生産量は、収穫面積及び単収の減少が見込まれることから、前年度より0.7百万トン減少（▲8.7%）し、7.2百万トンとなる見込みである。

消費量は、生産量の減少に伴い、前年度より0.6百万トン減少（▲8.1%）し、7.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの0.2百万トンとなり、期末在庫率も2.4%（0.5ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、主要産地で適度な降雨に恵まれたことから単収の増加により生産量が0.7百万トン上方修正された。また、消費量が0.7百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

インドのラビ（春夏）期のソルガムは、主要産地のマハラシュトラ州、カルナタカ州でサトウキビから作付けがシフトしており、これらの地域での生育は順調である。3月頃から収穫が始まっている。

（世界の輸出量シェア 2位（2008/09年度 12.0%））

表－5 オーストラリアのソルガム需給
（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値 (ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生産量	1.3	3.1	2.4 (2.1)	-	▲ 21.9
消費量	1.2	2.2	1.9 (1.5)	-	▲ 11.6
うち飼料用	1.2	2.2	1.9 (1.5)	-	▲ 11.6
輸出量	0.1	0.8	0.6 (0.6)	-	▲ 20.0
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	0.0	0.2	0.1 (…)	-	▲ 57.4
期末在庫率	1.2%	6.3%	3.1% (…)	-	▲ 3.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.61	1.03	0.80 (0.72)	-	▲ 22.3
単収(t/ha)	2.09	2.99	3.00 (2.93)	-	0.3

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
ABARE 「AUSTRALIAN CROP REPORT (17 February 2009)」

（世界の生産量シェア 3位（2008/09年度 11.4%））

表－6 インドのソルガム需給（市場年度：11月～翌年10月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値 (IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生産量	7.2	7.9	7.2 (6.5)	0.7	▲ 8.7
消費量	7.1	7.9	7.3 (…)	0.7	▲ 8.1
うち飼料用	1.2	1.5	1.2 (…)	-	▲ 20.0
輸出量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	▲ 16.7
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	0.2	0.2	0.2 (…)	-	▲ 23.7
期末在庫率	3.5%	2.9%	2.4% (…)	▲ 0.3	▲ 0.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	8.51	7.93	7.50 (…)	-	▲ 5.4
単収(t/ha)	0.84	1.00	0.97 (…)	0.10	▲ 3.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
IGC 「Grain Market Report (26 February 2008)」